

“ 局地的な大雨 ” から  を守るため

用水路や川などの 水辺には近づかないで！

○ 局地的な大雨とは ○

発達した積乱雲により、**狭い範囲に短時間で、時間雨量数十mmの強い雨が降る**ことを**局地的大雨**といいます。一つの積乱雲の発生から雨を降らせ消滅するまでの寿命は数十分程度とされます。

参考：局地的な大雨と集中豪雨の違い

局地的大雨 数十分という短時間にまとまって雨が降る 一過性の大雨（ゲリラ豪雨）

集中豪雨 積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより、激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域に数百mmの雨が降る。

◇ 平成23年新潟・福島豪雨 等

○ 局地的な大雨や集中豪雨による水害の特徴 ○

1 短い時間で危険な状態

雨水が集まる河川、溪流、下水管、用水路などは、短時間に強い雨が降ることや周りから降った雨が流れ込むことにより、数分～数十分で危険な状態になる場合があります。

＜平成20年7月の神戸市都賀川の事故では、10分間で約1m30cmも水位が上昇＞

2 離れた場所での雨も影響

河川、溪流、下水管、用水路などでは、強い雨が降っていないくても、上流など離れた場所で降った雨が流れてくることによって、危険な状態になる場合があります。

＜多摩川のような大きな川でも、40分間で約30cmも水位が上昇＞

3 注意報や警報の発表に至らない雨でも災害が発生

河川、溪流、下水管、用水路などでは、大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達しないわずかな雨量でも災害が発生する場合があります。

福島県県中地方振興局 県民環境部 県民生活課 TEL:024-935-1295

気象警報・降雨状況の確認（県中地方 防災サイト）



<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01220a/0335.html>

○ 局地的な大雨から身を守るために ○

- 1 河川や用水路などに行く場合、あらかじめ天気予報や気象台が発表する次の気象警報に注意してください！

気象警報の種類	発令・発表される状況等
大雨警報 ※概ね時間雨量 50 mm以上	大雨で重大な災害が起こるおそれのあるときに、警戒を呼びかけて行う予報
土砂災害警戒情報	大雨警報が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、市町村長の避難判断や住民の自主避難の判断の参考とするため発表する防災情報
記録的短時間大雨情報 ※概ね時間雨量 100 mm以上	数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測したときに、より一層の警戒を呼びかけるために発表する防災情報

◇ 福島県県中地方振興局の「県中地方 防災サイト」では、気象庁等関係機関が公表している気象警報や降雨状況等を一元的にみることができます。また、雨の降り方に応じた注意点を掲載しています。

- 2 発達した積乱雲が近づく兆しや河川等が増水する兆しに気づいたら、河川や用水路など水辺から離れ、決して近寄らないでください！

積乱雲が近づく兆しの例

- ◇ 真っ黒い雲が近づき、急に周囲が暗くなる
- ◇ 雷鳴が聞こえたり雷光が見えたりする
- ◇ ヒヤッとした冷たい風が吹きはじめる
- ◇ 大粒の雨や雹（ひょう）が降りはじめる

- ◇ 水かさが増えはじめる
- ◇ 水が濁ってくる
- ◇ 枯葉や流木が流されてくる
- ◇ サイレンの音が聞こえる(特にダムの下流)

河川等が増水する兆しの例

危険

増水した用水路やほ場を見回りに行って、死亡する事故が多発しています。小さな用水路でも足を取られると流されます。決して近づかないでください。

○ 野外で活動することが多い方へのお願い ○

国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所 では、気象警報をメールで送信する「メール通知サービス」を行っています。野外で活動することが多い方は、ご活用ください。

- ◇ 郡山国道事務所 メール通知サービス 申込サイト

<http://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/pda/fitm.html>

